

2018年 9 月23日 実施

平成30年度（第59回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 2 級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 8 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 手書きや印刷された文字などを、光学的に読み取り、テキストデータに変換する装置。
2. 情報の漏えいや改ざんを防止することを目的に、第三者が読み取ることができないようにしたデータを、元の状態に戻すこと。
3. 項目間をコンマで区切った形式のテキストファイル。様々なアプリケーションソフトウェアでデータを読み込むことができ、データ交換などに用いられる。
4. 磁気ディスク装置において、データを読み書きする部分。
5. インターネットに接続できるスマートフォンなどをアクセスポイントにして、他の通信機器をインターネットに接続する方法。接続する手段として、Wi-Fiを利用することが多い。

解答群

ア. 磁気ヘッド	イ. 暗号化	ウ. OMR
エ. シリンダ	オ. CSV	カ. LAN
キ. OCR	ク. PDF	ケ. 復号
コ. テザリング		

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. ONU 2. ファイアウォール 3. ドット
4. 肖像権 5. クライアントサーバシステム

< B群 >

- ア. データ通信を行う際の単位で、データを一定の容量に分割し、送信元や宛先の情報などを付加して伝送するもの。
- イ. 光ファイバを用いた通信をする際、光信号を電気信号に変換したり、電気信号を光信号に変換したりする終端装置。
- ウ. サービスを提供する専用のコンピュータと、そのサービスを利用するコンピュータで構成されたネットワークシステム。
- エ. ディスプレイやプリンタなどで出力された文字や画像を構成する、色情報を持たない物理的な最小単位である点。
- オ. ソフトウェアの設計ミスなどによって生じたシステムの欠陥。この欠陥を悪用されないために、ソフトウェアを常に最新の状態にする必要がある。
- カ. 本人の承諾を得ずに、容姿を撮影したり、撮影したものをインターネットなどに公開したりしないよう主張できる権利。
- キ. ケーブルテレビで使われる通信回線を用いて、データ通信を行うための接続装置。
- ク. 外部ネットワークからの侵入を防ぐために、外部ネットワークと内部ネットワークとの間に設けられた機器やソフトウェア。
- ケ. 新しい技術やデザイン、名称などについて独占権を与え、模倣防止のために保護する権利。出願し登録されることにより、独占的に使用できる。
- コ. ネットワークに接続されたコンピュータが、互いに対等の関係で構成されたネットワークシステム。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数の11111と10進数の6の和を表す2進数。

ア. 100101

イ. 1000100

ウ. 10111010

2. 図やイラストなどのフルカラーの画像データを、劣化させずに圧縮することができるファイル形式。ピクセルごとに透明度を指定できる。

ア. BMP

イ. MPEG

ウ. PNG

3. 横7,500ピクセル、縦5,000ピクセルの画像をフルカラーで圧縮せずに保存する場合、画像1枚の記憶容量。ただし、フルカラーは24ビットカラーとし、1MB=10⁶Bとする。

ア. 37.5MB

イ. 112.5MB

ウ. 900MB

4. 世界各国で使われる文字の多くを、同一のコード体系で表現しようと標準化された文字コード。

ア. Unicode

イ. JISコード

ウ. ASCIIコード

5. 次のダンス受講者表から、エアロビクス受講者表を差集合して仮想表を作成する。作成される仮想表のレコード件数。

ダンス受講者表

会員番号	名前
1002	田中 ○○
1005	山田 ○○
1006	石井 ○○
1008	大山 ○○
1011	浜田 ○○
1012	原田 ○○
1018	石塚 ○○
1020	鳥居 ○○
1021	高取 ○○
1025	酒井 ○○

エアロビクス受講者表

会員番号	名前
1005	山田 ○○
1011	浜田 ○○
1020	鳥居 ○○
1025	酒井 ○○

ア. 4

イ. 6

ウ. 10

【４】 あるテニスラケットショップでは、受注に関するデータを次のようなリレーショナル型データベースで管理している。次の各問いに答えなさい。

商品表

商品コード	商品名	単価	モデルコード
G01	チャレンジャー	23000	M02
G02	バランス	26000	M01
G03	レジェンド	18000	M03
G04	ナイアガラ	15000	M03
G05	アストル	20000	M02
G06	ポイント	24000	M01

モデル表

モデルコード	モデル種別
M01	上級モデル
M02	中級モデル
M03	初級モデル

顧客表

顧客コード	顧客名	電話番号
K001	A 小学校	xx-xxxx-2544
K002	B 高等学校	xx-xxxx-8472
K003	C スポーツクラブ	xxxx-xx-1985
K004	D 小学校	xxxx-xx-1155
K005	E 中学校	xxxx-xx-3584
K006	F 高等学校	xx-xxxx-7878
K007	G 高等学校	xxx-xxx-1446
K008	H テニスクラブ	xxx-xxx-3579
K009	I 中学校	xx-xxxx-1148
K010	J 中学校	xxx-xxx-5487
K011	K 小学校	xxx-xxx-3369
K012	L テニスクラブ	xx-xxxx-4741
K013	M 中学校	xxxx-xx-6985
K014	N 小学校	xxxx-xx-6574

受注表

受注コード	顧客コード	商品コード	受注本数
J001	K009	G03	22
J002	K001	G04	11
J003	K005	G03	15
J004	K001	G01	22
J005	K002	G03	16
J006	K010	G04	5
J007	K012	G02	26
J008	K002	G06	25
J009	K006	G03	20
J010	K013	G01	13
J011	K011	G03	30
J012	K013	G06	21
J013	K003	G04	4
J014	K014	G03	15
J015	K003	G02	6
J016	K012	G05	28
J017	K007	G04	30
J018	K014	G06	17
J019	K004	G03	27
J020	K008	G04	1
J021	K014	G05	21
J022	K001	G06	16
J023	K002	G01	19
J024	K014	G01	19
J025	K004	G05	17
J026	K012	G06	11

問 1. 次の表は、顧客表をもとにして作成したものである。このようなリレーショナル型データベースの操作として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 結合
イ. 射影
ウ. 選択

顧客名	電話番号
A 小学校	xx-xxxx-2544
B 高等学校	xx-xxxx-8472
C スポーツクラブ	xxxx-xx-1985
D 小学校	xxxx-xx-1155
E 中学校	xxxx-xx-3584
F 高等学校	xx-xxxx-7878
G 高等学校	xxx-xxx-1446
H テニスクラブ	xxx-xxx-3579
I 中学校	xx-xxxx-1148
J 中学校	xxx-xxx-5487
K 小学校	xxx-xxx-3369
L テニスクラブ	xx-xxxx-4741
M 中学校	xxxx-xx-6985
N 小学校	xxxx-xx-6574

問2. 次の(1)～(3)のSQL文によって抽出されるデータを解答群から選び、記号で答えなさい。

- (1) SELECT 商品名
FROM 商品表
WHERE モデルコード = 'M03'
- (2) SELECT 顧客名
FROM 顧客表, 受注表
WHERE 顧客表.顧客コード = 受注表.顧客コード
AND 商品コード = 'G03'
AND 受注本数 > 20
- (3) SELECT 受注本数, 単価 * 受注本数 AS 売上金額
FROM 商品表, モデル表, 顧客表, 受注表
WHERE 商品表.商品コード = 受注表.商品コード
AND 商品表.モデルコード = モデル表.モデルコード
AND 顧客表.顧客コード = 受注表.顧客コード
AND モデル種別 = '中級モデル'
AND 顧客名 = 'A小学校'

解答群

ア.

チャレンジャー
バランス
アストル
ポイント

イ.

I 中学校
K 小学校
D 小学校

ウ.

16	384000
----	--------

エ.

レジェンド
ナイアガラ

オ.

I 中学校
F 高等学校
K 小学校
D 小学校

カ.

21	420000
19	437000

キ.

チャレンジャー
アストル

ク.

L テニスクラブ
N 小学校

ケ.

22	506000
----	--------

問3. 次のSQL文を実行したとき、表示される適切な数値を答えなさい。

SELECT AVG(受注本数) AS 実行結果
FROM 受注表
WHERE 商品コード = 'G06'

実行結果
※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

【5】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ラグビーW杯カウントダウン表である。A 4は、本日から「開幕日」までの日数を算出し、日数の前に 開幕まであと を、日数の後ろに 日です。を文字列結合して表示する。A 4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、本日は2018年9月23日である。

	A	B
1		
2	ラグビーW杯カウントダウン表	
3	開幕日	2019/9/20
4	開幕まであと362日です。	

- ア. ="開幕まであと"&MONTH(B3-TODAY())&"日です."
 イ. ="開幕まであと"&DAY(B3-TODAY())&"日です."
 ウ. ="開幕まであと"&B3-TODAY()&"日です."

問2. 次の表は、ある高等学校の次年度理科選択科目確認表である。D 4に「次年度希望科目」を入力すると、次の条件にしたがって、「判定」を表示する。E 4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、「今年度選択科目」には、物理基礎、化学基礎、生物基礎のいずれかが入力されている。また、物理に対する基礎科目が物理基礎のように、科目の基礎科目には基礎がつく。

	A	B	C	D	E
1					
2	次年度理科選択科目確認表				
3	生徒番号	生徒名	今年度選択科目	次年度希望科目	判定
4	2101	青山 ○○	化学基礎	生物基礎	選択可
5	2102	石垣 ○○	物理基礎	物理	選択可
6	2103	伊藤 ○○	化学基礎	化学	選択可
7	2104	植田 ○○	生物基礎	化学	選択不可
8	}	}	}	}	}

条件

- (1)「次年度希望科目」は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、物理、化学、生物 から1科目を入力する。
 (2)「次年度希望科目」は、「今年度選択科目」で選択した科目以外の科目を選択する。ただし、物理、化学、生物 は、それぞれに対応する基礎科目を今年度選択していなければならない。
 (3) (1)と(2)の条件を満たした場合、選択可 を表示し、それ以外の場合、選択不可 を表示する。

- ア. =IF(OR(AND(LEN(D4)=4, C4<>D4), LEFT(C4, 2)=D4), "選択可", "選択不可")
 イ. =IF(AND(AND(LEN(D4)=4, C4<>D4), LEFT(C4, 2)=D4), "選択可", "選択不可")
 ウ. =IF(AND(OR(LEN(D4)=4, C4<>D4), LEFT(C4, 2)=D4), "選択可", "選択不可")

問3. 次の表は、ある企業のアンケート調査分担表である。各班の「担当枚数」を均等に近づけるために、「担当班」は、「回収枚数」の降順に順位を求め、その値を3で割った余りに1を加えて求める。C 4に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

$$=(a)(b)(B4, \$B\$4:\$B\$12, 0), 3)+1$$

	A	B	C
1			
2	アンケート調査分担表		
3	区名	回収枚数	担当班
4	A区	885	2
5	B区	696	3
6	C区	751	2
7	D区	606	1
8	E区	1,040	1
9	F区	1,124	3
10	G区	800	3
11	H区	1,183	2
12	I区	782	1
13			
14	班	担当区数	担当枚数
15	1	3	2,428
16	2	3	2,819
17	3	3	2,620

ア. RANK

イ. HLOOKUP

ウ. SEARCH

エ. MOD

問4. 次の表は、ある貸会議室管理会社の会議室予約表である。シート名「会議室予約表」の「料金」は、次の条件にしたがって、「部屋番号」をもとに、シート名「会議室表」の「料金表」を参照して表示する。シート名「会議室予約表」のF4に設定する次の式の空欄(a)、(b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

シート名「会議室予約表」

	A	B	C	D	E	F
1						
2	会議室予約表					
3	日付	会員名	部屋番号	部屋名	部屋タイプ	料金
4	10月1日	〇〇商事	11	さくら	小会議室	40,000
5	10月1日	〇〇株式会社	32	あんず	大会議室	95,000
6	10月1日	〇〇KK	22	いちよう	中会議室	90,000
7	10月2日	〇〇産業	22	いちよう	中会議室	90,000
8	10月2日	〇〇商会	12	もみじ	小会議室	60,000
9	?	?	?	?	?	?

シート名「会議室表」

	A	B	C	D
1				
2	詳細表			
3	部屋番号	部屋名	A V 設備	定員
4	31	ふじ	1	85
5	32	あんず	0	80
6	21	やまぶき	0	50
7	22	いちよう	1	45
8	11	さくら	0	20
9	12	もみじ	1	18
10	13	くちなし	0	15
11				
12	料金表			
13	タイプ番号	部屋タイプ	A V 設備なし	A V 設備あり
14	10	小会議室	40,000	60,000
15	20	中会議室	65,000	90,000
16	30	大会議室	95,000	135,000

条件

- (1) 「部屋番号」の10番台は 小会議室、20番台は 中会議室、30番台は 大会議室 を表す。
 (2) シート名「会議室表」の「詳細表」の「A V 設備」は、0 が設備なし、1 が設備ありを表し、「料金表」の「A V 設備なし」「A V 設備あり」と対応している。

=VLOOKUP(C4, 会議室表!\$A\$14:\$D\$16, VLOOKUP(C4, 会議室表!\$A\$4:\$C\$10, 3, (a))+3, (b))

- ア. (a) FALSE (b) FALSE イ. (a) FALSE (b) TRUE
 ウ. (a) TRUE (b) FALSE エ. (a) TRUE (b) TRUE

問5. 次の組別希望コース人数集計表は、遠足コース希望一覧表をもとに行方向に「組」ごとの人数、列方向に「希望コース」ごとの人数を集計したものである。この集計方法として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	遠足コース希望一覧表					組別希望コース人数集計表				
3	組	番	名前	希望コース		データの個数 / 名前	列ラベル			
4	1	1	新井 〇〇	A コース		行ラベル	A コース	B コース	C コース	総計
5	1	2	五十嵐 〇〇	A コース		1	8	10	12	30
6	1	3	石川 〇〇	C コース		2	10	7	14	31
7	1	4	伊藤 〇〇	B コース		3	13	11	7	31
8	1	5	岩崎 〇〇	B コース		4	12	10	8	30
9	1	6	内田 〇〇	A コース		総計	43	38	41	122
10	1	7	太田 〇〇	B コース						
11	?	?	?	?						
121	4	26	森 〇〇	C コース						
122	4	27	山口 〇〇	C コース						
123	4	28	山田 〇〇	C コース						
124	4	29	吉川 〇〇	B コース						
125	4	30	渡辺 〇〇	B コース						

- ア. フィルタ イ. ゴールシーク ウ. ピボットテーブル

【6】 次の表は、関東甲信越における法人タクシー車両数表である。作成条件にしたがって、各問いに答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	法人タクシー車両数表									
3										
4	地域	都県名	事業者数	車両数	構成比率	ドライブレコーダー		E T C		備考
5						導入車両数	導入率	導入車両数	導入率	
6	関東	茨城	236	2,875	4.3%	751	26.1%	859	29.8%	
7	関東	栃木	106	1,841	2.8%	555	30.1%	89	4.8%	
8	関東	群馬	66	1,629	2.4%	377	23.1%	224	13.7%	
9	関東	埼玉	194	5,919	9.0%	4,226	71.3%	3,398	57.4%	○
10	関東	千葉	215	5,989	9.1%	4,048	67.5%	4,808	80.2%	
11	関東	東京	441	30,907	47.0%	28,668	92.7%	28,504	92.2%	○
12	関東	神奈川	186	9,959	15.1%	9,554	95.9%	8,716	87.5%	○
13	甲信越	新潟	130	2,805	4.2%	2,237	79.7%	625	22.2%	
14	甲信越	山梨	87	997	1.5%	344	34.5%	293	29.3%	
15	甲信越	長野	124	2,725	4.1%	2,156	79.1%	631	23.1%	
16										
17	地域別車両数合計					最大導入率				
18	地域	車両数 合計	事業者 あたり							
19	関東	59,119	41	種別		都県名				
20	甲信越	6,527	20	ドライブレコーダー		神奈川				
				E T C		東京				

作成条件

1. 「法人タクシー車両数表」は、次のように作成する。

- (1) 「構成比率」は、次の式で求める。ただし、小数第3位未満を切り捨て、％で小数第1位まで表示する。

$$\text{「車両数」} \div \text{「車両数の合計」}$$

- (2) 「ドライブレコーダー」の「導入率」は、次の式で求める。ただし、小数第3位未満を切り捨て、％で小数第1位まで表示する。なお、「E T C」の「導入率」も、「ドライブレコーダー」の「導入率」と同様に求める。

$$\text{「ドライブレコーダーの導入車両数」} \div \text{「車両数」}$$

- (3) 「備考」は、「ドライブレコーダー」の「導入率」が降順で上位5位以内、かつ「E T C」の「導入率」が降順で上位5位以内の場合、○を表示し、それ以外の場合、何も表示しない。

2. 「地域別車両数合計」は、次のように作成する。

- (1) 「車両数合計」は、「地域」ごとに「車両数」の合計を求める。
- (2) 「事業者あたり」は、「車両数合計」を「地域」ごとに「事業者数」の合計で割って求める。ただし、整数未満を切り上げ、整数部のみ表示する。

3. 「最大導入率」の「都県名」は、「種別」ごとに「導入率」が最も高い「都県名」を表示する。ただし、「導入率」に同率はないものとする。

問 1. E 6 に設定する式として適切なものを選び，記号で答えなさい。

- ア. =ROUNDDOWN(D6/SUM(\$D\$6:\$D\$15), 3)
- イ. =ROUNDDOWN(SUM(\$D\$6:\$D\$15)/D6, 3)
- ウ. =ROUNDDOWN(C6/SUM(\$D\$6:\$D\$15), 3)

問 2. G 6 に設定する式として適切なものを選び，記号で答えなさい。ただし，この式を G 7 ～ G 15, I 6 ～ I 15 までコピーする。

- ア. =ROUNDDOWN(\$F6/\$D6, 3)
- イ. =ROUNDDOWN(F6/D\$6, 3)
- ウ. =ROUNDDOWN(F6/\$D6, 3)

問 3. J 6 に設定する式として適切なものを選び，記号で答えなさい。ただし，この式を J 7 ～ J 15 までコピーする。

- ア. =IF(AND(G6<=LARGE(\$G\$6:\$G\$15, 5), I6<=SMALL(\$I\$6:\$I\$15, 5)), "○", "")
- イ. =IF(AND(G6>=SMALL(\$G\$6:\$G\$15, 5), I6>=SMALL(\$I\$6:\$I\$15, 5)), "○", "")
- ウ. =IF(AND(G6>=LARGE(\$G\$6:\$G\$15, 5), I6>=LARGE(\$I\$6:\$I\$15, 5)), "○", "")

問 4. C 19 に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び，記号で答えなさい。

=ROUNDUP(B19/[](\$C\$6:\$C\$15, \$A\$6:\$A\$15, A19), 0)

- ア. SUMIFS
- イ. AVERAGEIFS
- ウ. COUNTIFS

問 5. G 19 に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものを選び，記号で答えなさい。

=INDEX(B6:B15, [(a)]([(b)](G6:G15), G6:G15, 0), 1)

- ア. (a) MAX (b) MIN
- イ. (a) MATCH (b) MAX
- ウ. (a) MAX (b) MATCH

(平成30年 9 月23日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成30年度（第59回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記

解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

【4】

問 1	問 2			問 3
	(1)	(2)	(3)	

小計	
----	--

【5】

問 1	問 2	問 3		問 4	問 5
		(a)	(b)		

【6】

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

小計	
----	--

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(平成30年 9 月23日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成30年度（第59回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記
審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5
	キ	ケ	オ	ア	コ

【2】	1	2	3	4	5
	イ	ク	エ	カ	ウ

【3】	1	2	3	4	5
	ア	ウ	イ	ア	イ

【4】	問 1	問 2			問 3
		(1)	(2)	(3)	
	イ	エ	イ	ケ	18

各 3 点 20問	小 計	60
--------------	--------	----

【5】	問 1	問 2	問 3		問 4	問 5
			(a)	(b)		
	ウ	ア	エ	ア	イ	ウ

【6】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	ア	ウ	ウ	ア	イ

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

各 4 点 10問	小 計	40
--------------	--------	----

得 点 合 計
100

2018年 9 月23日 実施

平成30年度（第59回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 2 級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート名「報告書」の A 1 のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって、1 ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

ある家具店では、上半期における輸入報告書を作成することになった。作成条件にしたがって、シート名「国名表」とシート名「輸入データ表」から、シート名「報告書」を作成しなさい。

作成条件

ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。

1. 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

〔 設 定 す る 書 式：罫線
〔 設定する数値の表示形式：3桁ごとのコンマ，%，小数の表示桁数〕 〕

2. 表の※印の部分は、式や関数などを利用して求める。

3. グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。

4. 「1. 輸入金額計上位10か国」は、次のように作成する。

- (1) 「国名」は、「国コード」をもとに、シート名「国名表」を参照して表示する。
- (2) 「数量計」は、シート名「輸入データ表」から「国コード」ごとに「数量」の合計を求める。
- (3) 「金額計」は、シート名「輸入データ表」から「国コード」ごとに「金額」の合計を求める。
- (4) 「平均金額」は、シート名「輸入データ表」から「国コード」ごとに「金額」の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。
- (5) 「割合」は、「金額計」をシート名「輸入データ表」の「金額」の合計で割って求める。ただし、小数第3位未満を切り捨て、％で小数第1位まで表示する。
- (6) 「備考」は、「平均金額」が 3000 以上の場合、◎ を表示し、2500 以上 3000 未満の場合、○ を表示し、それ以外の場合、何も表示しない。

5. 複合グラフは、「1. 輸入金額計上位10か国」から作成する。

- (1) 数値軸（縦軸）の目盛は、最小値（20,000）、最大値（60,000）および間隔（10,000）を設定する。
- (2) 第2数値軸（縦軸）の目盛は、最小値（100）、最大値（1,300）および間隔（300）を設定する。
- (3) 軸ラベルの方向を設定する。
- (4) 凡例の位置を設定する。
- (5) データラベルを設定する。

6. 「2. 地域別集計表」は、次のように作成する。

- (1) 「件数」は、シート名「輸入データ表」から「地域」ごとの件数を求める。
- (2) 「金額計」は、シート名「輸入データ表」から「地域」ごとに「金額」の合計を求める。
- (3) 「順位」は、「金額計」を基準として、降順に順位を求める。

A	B
1	
2	国名表
3	国コード 国名
4	CHN 中国
5	IDN インドネシア
6	
7	
8	CHE スイス
9	GBR 英国

(国名表)

A	B	C	D	E	F	G
1						
2	輸入データ表					単位：個 単位：千円
3	輸入コード	輸入月	国コード	地域	種類	数量 金額
4	B1801001	1	VNM	アジア	金属製家具	73 3,577
5	B1801002	1	CHE	ヨーロッパ	木製椅子	278 7,228
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18	B1806019	6	ITA	ヨーロッパ	家具部分品	102 3,468
19	B1806020	6	IDN	アジア	椅子部分品	185 2,960

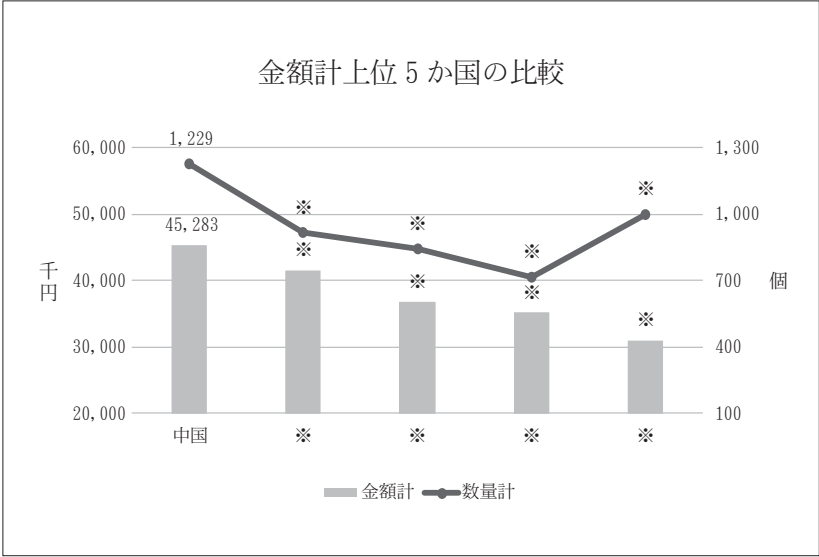
(輸入データ表)

A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---

輸入報告書

1. 輸入金額計上位10か国

国コード	国名	数量計	金額計	平均金額	割合	備考
CHN	中国	1,229	45,283	2,664	13.6%	○
VNM	※	※	※	※	※	※
CHE	※	※	※	※	※	※
THA	※	※	※	※	※	※
FRA	※	※	※	※	※	※
MYS	※	※	※	※	※	※
IDN	※	※	※	※	※	※
AUS	※	※	※	※	※	※
ITA	※	※	※	※	※	※
USA	※	※	※	※	※	※



2. 地域別集計表

地域	件数	金額計	順位
北アメリカ	15	17,578	4
ヨーロッパ	※	※	※
アジア	※	※	※
オセアニア	※	※	※

(報告書)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成30年度（第59回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 実技
審査基準

A	B	C	D	E	F	G	H
1	輸入報告書						
2							
3							
4	1. 輸入金額計上位10か国						
5	国コード	国名	数量計	金額計	平均金額	割合	備考
6	CHN	中国	1,229	45,283	2,664	13.6%	○
7	VNM	ベトナム	917	41,530	3,775	12.4%	◎
8	CHE	スイス	843	36,787	2,299	11.0%	
9	THA	タイ	716	35,180	2,513	10.5%	○
10	FRA	フランス	1,000	31,009	1,824	9.3%	
11	MYS	マレーシア	839	30,646	2,786	9.2%	○
12	IDN	インドネシア	408	21,498	3,583	6.4%	◎
13	AUS	オーストラリア	374	18,583	1,429	5.5%	
14	ITA	イタリア	237	16,557	1,104	4.9%	
15	USA	米国	375	14,412	1,441	4.3%	
16							
17							
18	金額計上位5か国の比較						
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33	2. 地域別集計表						
34	地域	件数	金額計	順位			
35	北アメリカ	15	17,578	4			
36	ヨーロッパ	72	115,941	2			
37	アジア	59	174,137	1			
38	オセアニア	19	25,031	3			

配点

- ① 表の作成 () の箇所 5点×13箇所=65点
注1 MYSが○, IDNが◎, AUSが空白。
- ② 野線 5点×1箇所=5点 (2つの表の野線が正確にできている)
- ③ グラフの作成 () の箇所 ... 5点×6箇所=30点
注2 方向。
注3 位置はグラフの下側であること。順序は問わない。
注4 ベトナムの金額計が集合縦棒グラフであること。
注5 数値(716)。
注6 フランスの数量計が折れ線グラフであること。マーカーの有無は問わない。
注7 右側の数値軸が、最小値(100)、最大値(1,300)および間隔(300)。

※ 審査にあたっては、必要に応じて「審査上の注意事項」を参照してください。